

『蝶は愛執の檻にとらわれる』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『蝶は愛執の檻にとらわれる』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『蝶は愛執の檻にとらわれる』を読んだことのある20代～50代の男女10名
調査期間	2026年1月20日～2026年1月23日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	ランサーズ
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/chohaaisyunoorinitorawareru/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えて下さい。

Q2: 『蝶は愛執の檻にとらわれる』を実際に読んだ感想を教えて下さい。

Q1: 年代と性別を教えて下さい。

20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	0人
30代女性	2人
40代男性	0人
40代女性	5人
50代男性	3人
50代女性	0人

Q2: 『蝶は愛執の檻にとらわれる』の感想を教えて下さい。

『蝶は愛執の檻』 魁が朱葉を心の底から愛しているということが伝わってきました。自分と関わることで迷惑をかけ

『とらわれる』の1話～5話	てしまうと思っているからこそ、距離を置こうとしたのでしょうか。朱葉が大切にしていたぬいぐるみを今も大事に持っていることからも、その気持ちがよく伝わってきます。再会の形は少し歪になってしまいましたが、これからは幸せになってほしいと思います。そうなると、武尊のことが気になってしまいます。朱葉の心に魁がいることは理解していても、受け入れるのは簡単ではないでしょう。武尊がどのような行動に出るのか注目したいです。
『蝶は愛執の檻にとらわれる』の1話～5話	魁は確かにカッコいいし、過去のことがあるからこそ彼に対する朱葉の想いが強いことは伝わってきましたが、客観的に見れば魁との関わりは朱葉の身を危うくする可能性が高すぎて、武尊にしておけば良いのにと思ってしまいました。ずっと朱葉のそばで彼女を支えてきたはずなのに、彼女の気持ちが自分には向いていないことを思い知らされてしまう武尊がかわいそうでした。
『蝶は愛執の檻にとらわれる』の1話～5話	同じ児童養護施設で育ったものの、ある日突然いなくなってしまった魁のことが忘れられずにいるものの、キャバ嬢として働きながら、幼馴染で警察官の武尊と一緒に暮らす朱葉が、キャバ仲間を助けるために起こした行動によって、マフィアのボスとなり別名を名乗る魁と再会し、流れで抱かれてしまった結果、魁のことしか考えられなくなり、武尊に悪意なく冷たくしてしまうところがよかったです。キャバ嬢の派手な見た目とは裏腹にピュアな朱葉が、マル暴担当の武尊とマフィアの魁という正反対の2人の間で揺れるところも見どころだと思いました。
『蝶は愛執の檻にとらわれる』の1話～5話	朱葉と魁、武尊は幼馴染ですが、魁と武尊の2人はどちらも朱葉のことが好きだということがよく伝わってきました。朱葉はというと、武尊と一緒にいても魁のことばかり考えていて明らかに魁の方に気持ちが向いています。武尊がちょっと可哀そうになりました。魁がマフィアで武尊が警察官という立場もあり、三角関係がますますドロドロしてくるのか気になります。
『蝶は愛執の檻にとらわれる』の6話～10話	武尊は少し気の毒に思えました。というのも、朱葉と魁の仲があまりにもラブラブすぎるからです。正直なところ、入り込む余地が全くありません。武尊がどんなに努力したところで、ただの邪魔者になってしまうだけでしょう。これまでずっと朱葉に好意を持ってきたので、諦めきれない気持ちは理解できます。それだけに、彼のことがかわいそうに感じました。
『蝶は愛執の檻にとらわれる』の6話～10話	アゲハチョウの刺青にドキッとしてしまいました…！魁がなぜ施設にいたのか、施設にいた子がどうして今の地位まで上り詰めたのか、いろいろなことがわかってハッキリする回です。最終的に朱葉は魁を選ぶんだろうなとはわかっているのですが、武尊の彼女に対する愛情も伝わります。愛情というよりは依存なんだろうなとか、いろいろと考察の余地があり非常に面白かったです。
『蝶は愛執の檻にとらわれる』の6話～10話	朱葉と魁のラブラブな様子がたっぷり読めてうつとりしてしまう一方で、子供の頃の武尊のエピソードがかわいそうすぎて胸が苦しくなりました。また、普段は隠している武尊の一面が垣間見えたシーンでは、まっとうな人物だと思っていた分驚きましたが、こんな強かさがあるなら魁に一方的に朱葉を奪い去られてしまう展開にはならなそうだなと思って、安心しました。
『蝶は愛執の檻にとらわれる』の6話～10話	15年前に起きた出来事について、少しずつ情報が明かされていっていますが、逆に真相が読めなくなってきていて、とても面白いです。魁と武尊、それぞれの立場を考えれば子どもの頃のようにまた3人で仲良くすることは不可能だろうとは覚悟していましたが、やっぱり魁と武尊は対立する運命なんだと突きつけられたような感じがあって、切なくなりました。
『蝶は愛執の檻にとらわれる』の11話～13話	アダム達の言い分にも一理あるように感じました。朱葉はとても美しい女性ですけど、ただそれだけなんです。施設で育った、何ら背景を持たない一般女性。一方、魁は施設で育ったとはいえ、四龍会頭龍の息子だったわけで。朱葉とは立場も棲む世界も違い過ぎます。迎えに来た武尊とのまま帰るのもアリだったのではと感じました。
『蝶は愛執の檻にとらわれる』の11話～13話	魁は再会してすぐの頃と比べると態度がずいぶん柔らかくなっていますし、常にクールな表情に朱葉限定でふと甘さをにじませるのがたまりません。ご飯を食べさせてくれる時のしぐさなど、優しいのに色っぽくもあってドキドキしました。また、武尊との再会シーンはもつと殺伐とした空気になるのではないかと思っていたので、どこか切なげな表情を浮かべていたのにもキュンときました。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス